

リモコン設置工事説明書

工事される方へ

- 機器を正しく安全に使用していただくために、この設置工事説明書をよくお読みになって指定された工事を行ってください。
- 本品を指定する機器にご使用ください。

名称	型式
リモコンセット	MBC-240V-HOL
浴室リモコン	BC-243VN-HOL

1 設置前の確認

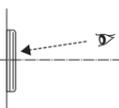
工事資格

- 機器本体からリモコンまでの接続線は 24V 以下ですので、この配線工事は「小勢力回路の工事」に該当し、電気工事士の資格がなくても工事できますが、電気設備技術基準に合った電気工事で施工してください。

設置場所

- 下記の場所には取り付けしないでください。
 - ・ 温度が高くなる場所
 - ・ 直射日光のあたるところ
 - ・ 湯気のかかる場所
 - ・ 油のかかる場所
 - ・ 段差のある壁面（ケースが変形して不具合が発生することがあります）
 - ・ 水しぶきのかかる場所…浴室リモコンの場合でも、シャワーのお湯などが直接かかる場所は避ける。
 - ・ 特殊薬品を使用する場所（ベンジン・アルコール・油脂系の洗剤など）
- 浴室リモコン以外は、絶対に浴室内に設置しないでください。

- 浴室リモコンを取り替える場合は、壁面に残ったパッキンを取り除いてください。
- 浴室リモコンは入浴したまま操作できるよう、浴槽エプロンより少し上の、目の高さ程度の位置に取り付けてください。



その他

- リモコン本体は浴室リモコンの取り付け工事の際に取りはずすカバー以外絶対に分解しないでください。故障の原因となります。
- 壁面埋込配線の場合は、始めにリモコン取り付け壁面から 2 芯ケーブルが引き出されていることを確認してください。
- 音声スピーカが搭載されているリモコンに金属屑が付着すると音割れなどの原因になります。リモコンに金属屑などが付着しないように、壁に取り付ける直前に包装材をはずしてください。

2 機種設定とメンテ設定

- リモコンから熱源機の機種設定とメンテ設定ができます。設定方法は熱源機のフロントカバー裏面に収納されている故障診断シートを参照してください。

3 付属部品

※取り付け方法によっては、使用しない部品があります。

- 梱包内には本書の他に下記の付属部品が入っています。設置工事の前にご確認ください。

浴室リモコン			
部品名	形状	個数	備考
リモコン本体		1	
⊕木ねじ φ 4.1 × 25		2	
取扱説明書		1	機器に同梱している場合もあります。

- ※リモコンの変形や取り付け不良の原因となりますので、ねじ類は必ずリモコンに付属のものを使用してください。
- ※リモコンの 2 芯ケーブルはケーブルクランプ（現場手配）を用いて機器本体に固定してください。詳しくは機器の設置工事説明書をお読みください。

台所リモコン			
部品名	形状	個数	備考
リモコン本体		1	
壁取付金具		1	
⊕木ねじ φ 4.1 × 25		2	
⊕小ねじ M4		2	スイッチボックス用

4 別売部品

- 別売部品は機器の必要に応じ別途お買い求めください。

名称	型式
コネクタ付 2 芯ケーブル (浴室リモコン用)	UC-27C-□□ (リモコン側…2Pコネクタ) (機器側…Y型端子)
2 芯ケーブル (台所リモコン用)	UC-25-□□ UC-27-□□ (リモコン側…Y型端子) (機器側…Y型端子)

名称	型式
コネクタセット	UX-2-C (UC-27-50・UC-27-100) を浴室リモコン用に改造する場合に使用
電力測定ユニット	RECU-200

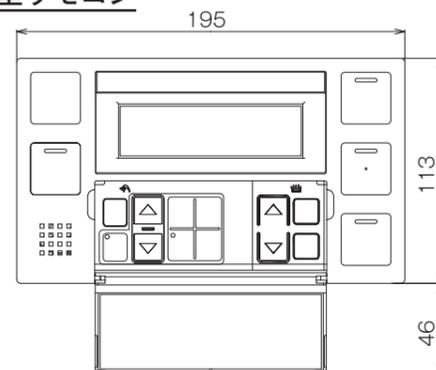
5 2 芯ケーブルについて

- ケーブルは別売の専用 2 芯ケーブル(台所リモコンは UC-25-□□または UC-27-□□、浴室リモコンは UC-27C-□□)を使用してください。市販品を用いる場合は、JIS C 3306 に合格の VCTF を用い、仕上外径 9 mm 以下のものをご使用ください。
- 芯線の公称断面積が 0.5mm² より小さいケーブルは故障の原因となりますので使用しないでください。
- ケーブルに Y 型端子をかきしめる際、芯線のヒゲなどが出ていると、端子に接続したときヒゲがもう 1 本のケーブルと接触してショートすることがあります。これは機器が正常に作動しないばかりでなく、機器本体の電装ユニットの故障にもつながりますので、芯線のヒゲには十分にご注意ください。
- 2 芯ケーブルは他の電気製品の電源コードと離して配線してください。洗濯機・冷蔵庫・衣類乾燥機などの電源コードと近接・併走配線すると、機器が作動しないことがあります。また、テレビ・ラジオ・ステレオなどの電源コードと接近して配線すると、テレビなどの画像・音声にノイズ（雑音など）が入ることがあります。
- ケーブルは直接熱の影響を受けないところに配線してください。
- ケーブルをコンクリートなどに埋め込む場合には、電線管などに収めてケーブルに傷が付かないように保護してください。メタルラスなどを有する壁を貫通する場合は、メタルラスなどと金属電線管が接触しないように十分距離を確保してください。
- 各リモコンの 2 芯ケーブルの長さは 25m 以内とし、ケーブル線の総延長が 50m 以内になるようにしてください。
- 2 芯ケーブルが余る場合は、機器の外にて処理してください。(機器の中へは絶対に押し込まないでください)
- 2 芯ケーブルを機器本体と接続するときは、機器の電源プラグが抜いてある（分電盤の専用スイッチが「切」になっている）ことを確認してから行ってください。
- ケーブル線を電線管に入れて配線する場合は、ケーブル仕上外径は、端子をケーブルにかきしめる前と後では異なりますので注意してください。
- コネクタ付 2 芯ケーブルの場合は 2P コネクタがあるため電線管呼びφ 25 以上をお使いください。
- 2 芯ケーブルの場合は電線管呼びφ 19 以上をお使いください。

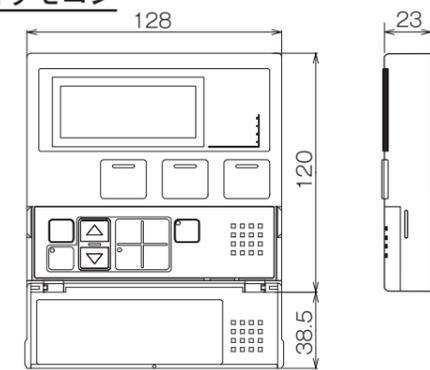


6 外形寸法図

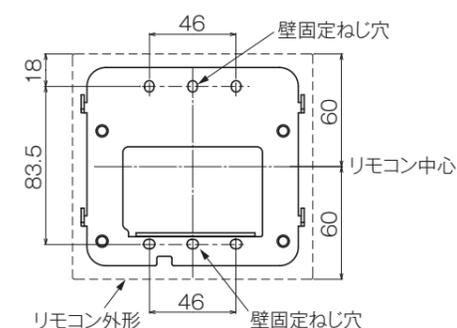
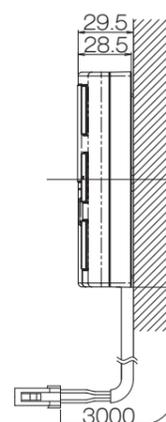
浴室リモコン



台所リモコン



単位：mm

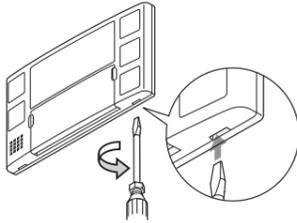


7 浴室リモコンの取り付け

①カバーを取りはずしてください。

◆リモコンのカバーを取りはずす際は、以下の要領をお願いします。

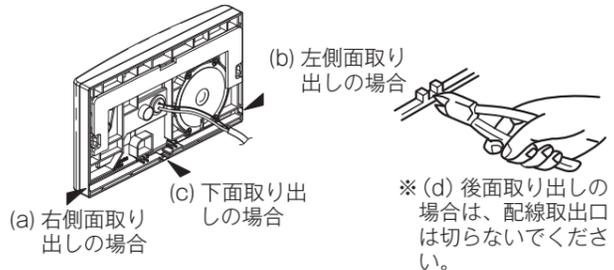
※⊖ドライバーをリモコン底面の溝に差し込んで、ゆっくり回してはがします。反対側も同じ方法ではがします。



注) ドライバーを溝に差し込むときや回すときはリモコン本体に傷を付けないようご注意ください。

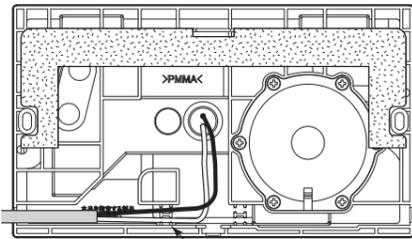
※推奨ドライバー：先端巾6mm (先の細い⊖ドライバーを使用すると傷が付くおそれがあります)

②2芯ケーブルの取り出し方向を確認し、リモコン裏面のいずれかの配線取出口をニッパーなどで切り取ります。

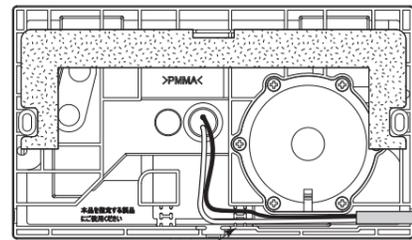


③2芯ケーブルをリモコンの裏面の溝にあてがい、下図のようにそれぞれツメにはさんで固定します。

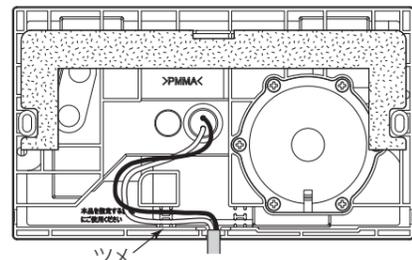
(a) 右側面取り出しの場合



(b) 左側面取り出しの場合



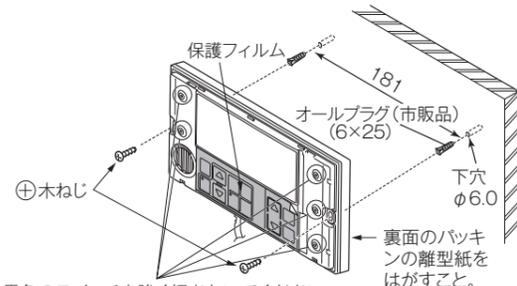
(c) 下面取り出しの場合



(d) 後面取り出しの場合 (ユニットバスなどで壁面に穴をあけて後面に2芯ケーブルを取り出す場合) は不要です。

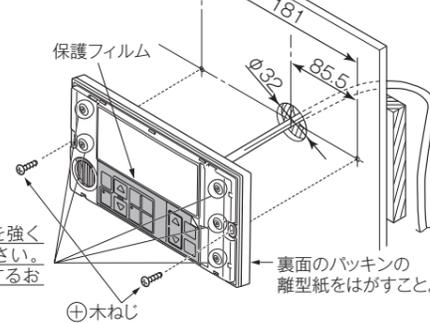
④下図のように、取り付ける壁面に合わせてリモコンを固定します。

(a) (b) (c) の場合



※黒色のスイッチを強く押さないでください。スイッチが故障するおそれがあります。

(d) 後面取り出しの場合 (ユニットバスなど)



※黒色のスイッチを強く押さないでください。スイッチが故障するおそれがあります。

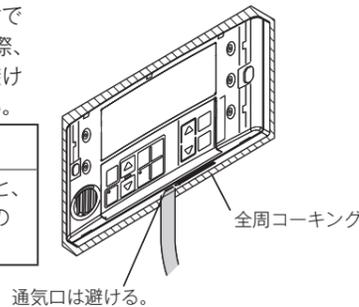
注) 木ねじを締め付ける際、インパクトドライバーは使用しないでください。樹脂が変形して不具合が発生するおそれがあります。また、トルク規制ができるドリルドライバー (ドライバードリル) の場合は、0.49N・m (5kgf・cm) 以下のトルクで締め付けてください。

⑤リモコンの操作部に貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。

⑥リモコンの周囲をシール材でコーキングします。その際、リモコン下部の通気口は避けてコーキングしてください。

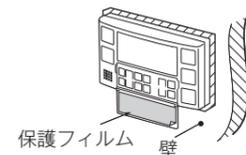
注意

通気口をふさいでしまうと、リモコンの不具合や故障の原因となります。



※通気口は、リモコン内外の気圧差を緩和するための空気の流れです。通気口からリモコン内部に水が入り込むことがないように設計されています。

⑦カバーをもと通りに取り付け、フタの裏に貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。



⑧機器本体に同梱の「設置工事説明書 (「工事説明書」)」に従って、機器本体と接続してください。

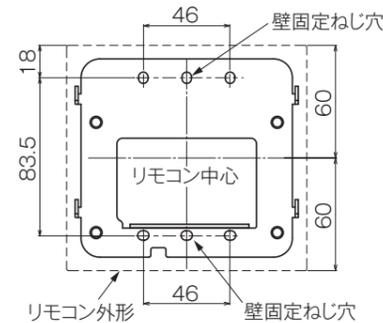
8 台所リモコンの取り付け

露出配線で台所リモコンを木壁面やコンクリート壁面に取付ける場合

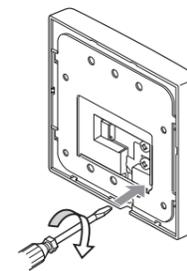
①壁取付金具を壁面に付属の⊕木ねじにて固定してください。壁 (または壁の素地) がコンクリート・ブロックなどの場合はオールプラグ用穴 (φ6、深さ25mm以上) を2か所あけ、オールプラグを入れてから、付属の⊕木ねじにて固定してください。MC-120V、MC-100Vなど、従来の壁取付金具とは互換性はありませんので、既に取り付いている壁取付金具は取り替えてください。

※木ねじを締め付けすぎると壁取付金具が変形するおそれがありますのでご注意ください。取り付け後は壁取付金具と壁に隙間がないことを確認ください。

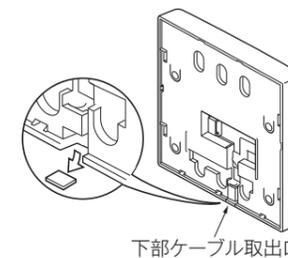
[単位: mm]



※壁取付金具が台所リモコンから取りはずしにくい場合は、壁取付金具とリモコンの隙間 (右図の位置) に⊖ドライバーを差し込み、ゆっくり回してはがしてください。



②ケーブル取出口をニッパーなどで切り取ってください。

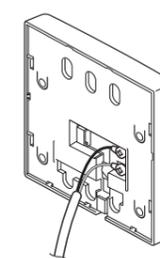


③2芯ケーブルの外側の被覆を約60mmむいてください。



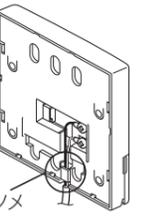
④2芯ケーブルのY型端子をリモコン裏面の端子に接続してください。

接続の際には、ビスのゆるみ、芯線のヒゲが出ていないことを確認ください。

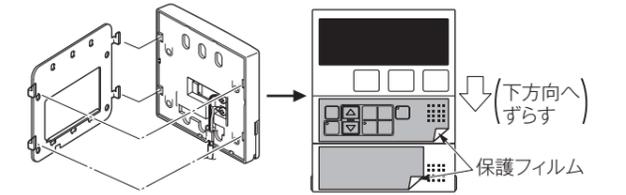


⑤2芯ケーブルをケースのツメに引っかけて固定してください。

※2芯ケーブルの被覆が完全にケースから出ていることを確認してください。樹脂が変形し不具合が発生することがあります。



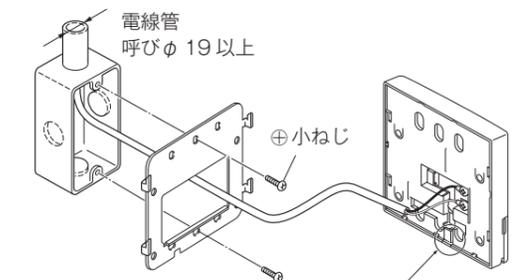
⑥取付金具のツメがリモコンの穴に入るように取り付け後、カチッと感触があるまでリモコンを下方向にずらして取り付け、スイッチとフタの裏に貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。



壁内埋込配線で台所リモコンをスイッチボックスに取り付ける場合

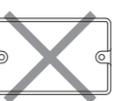
①壁取付金具を付属の⊕小ねじ (M4) にて、スイッチボックスに取り付けてください。

注) 小ねじを締め付ける際、インパクトドライバーは使用しないでください。壁取付金具が変形して不具合が発生することがあります。また、トルク規制ができるドリルドライバー (ドライバードリル) の場合は、0.49N・m (5kgf・cm) 以下のトルクで締め付けてください。



このツメは露出配線用です。スイッチボックスに取り付ける場合は、ケーブルを引っかけないでください。露出配線以外でこのツメを使用すると不具合が発生することがあります。

※横向きのスイッチボックスには施工できません。



②2芯ケーブルのY型端子をリモコン裏面の端子台に接続してください。

③取付金具のツメがリモコンの穴に入るように取り付け後、カチッと感触があるまでリモコンを下方向にずらして取り付け、スイッチに貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。

注) リモコンを壁に固定するときに、ケーブルが壁取付金具とケースの間に挟み込まれると、樹脂が変形し不具合が発生することがあります。特に壁埋込配線でスイッチボックスを使わずに施工する場合は、よく確認して設置してください。

注) 台所リモコンを設置する建物が高气密のコンクリート住宅の場合や、台所の換気口が小さい場合などは、換気扇を回すと部屋が負圧になり、リモコンの取付面と壁との隙間から外気が流入してリモコン周囲の壁が変色することがあります。換気扇を回したときにリモコンの周囲から外気の侵入が感じられた場合は、台所リモコン全周をコーキング剤でコーキングしてください。